

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	開業から1年半、数名のご利用者様が医療施設へ移られ、お顔ぶれも少しづつ変わってきました。入所されてからより健康に、永く共に生活を楽しむサポートをさせていただきたいが、水分摂取など日々の健康管理について徹底できない時がある。	職員、ご利用者様共に協力して、誤嚥・骨折・せん妄予防のため、体操や水分補給に心がける。そしてそれが自然な生活になっていけるようにしたい。	毎日の食事・おやつ時など、職員と一緒に食事を共にするだけでなく、食事の様子や水分摂取状況に気配りをかかさないようにする。また、日々の生活でのご利用者様のご様子に敏感になる。	3ヶ月
2	6,7	身体拘束適正化検討委員会を各月で実施しているが、自分達とは縁遠いと考え人事のように感じている職員が少なくない。誰もがひとつ誤れば当事者になるかもしれないとの危機感をどこかに持ちながら身体拘束や虐待への知識の補充に興味を持ってほしい。	誰もが当事者になるかもしれないとの危機感を持ちながらご利用者様方と健全な生活を送る。	職員同士相互に、言葉かけや対応などが適切なのか？気軽に行動制限などしていないか？等々考えながら、ちょっとした違和感に気づいたらお互いに注意しあい、知識を自然に身につけていく。	12ヶ月
3	38,38	隣接の特養の防災マニュアルを個々には、ほぼ周知できているがマニュアルについて、グループホーム内で日ごろからの話し合いの機会がなかなか作れていない。	避難誘導時、訓練時に全員が同じように考え・動けるようにする。	年2回の避難訓練と共に、施設独自の研修や勉強会を通してより良い声かけ・避難誘導動線などを考え、お互いに確認・共有する。	12ヶ月
4	10	運営推進委員会には、行政・地域の代表の方々に出席いただき、ご意見やご質問等をいただいているが、平日の午後から開催という事もあり、ご家族方に未だ、ご出席いただけていない。	ご家族が運営推進委員会に出席いただくことで、グループホームの役割や認知症への理解を深め、花木蓮という法人の姿勢にも触れていただく。	ホーム便りだけでなく、面会時など気軽に職員から、出席のお声かけをしたり気軽にお越しいただける雰囲気づくりをする。お声かけの機会を増やすことによって運営推進委員会を身近に感じていただく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。